

2022年度

第161号

光の子

～ミッション委員会活動報告書～

目次

●メッセージ

P2 学長メッセージ

P3 ミッション委員長メッセージ

P4 礼拝班長メッセージ

P5 1年生、カイロスメッセージ

●ミッション委員会の活動

P7 活動概要

P8 献金報告

P9 ミッションデー、ワーシップライブ

P10 クリスマスツリー点灯式、スペシャル・アドベント・チャペル

P11 クリスマス礼拝

学長メッセージ

「美しい時を生きる」

梅光学院大学長 樋口 紀子



今から 150 年前、1872 年(明治 5 年)は品川・横浜間に鉄道が開通した年です。これによって人が一日かけて歩いたところを 30 分で移動することができるようになりました。日本にとっては大きな変革の年です。この同じ年に梅光学院は長崎の地に誕生しました。女子には教育はいらないとされていた時代に、創設者ヘンリー・スタウト先生は男女の別なく教育が必要だと思ったのです。そのために遠いアメリカの地から奥様と共にはるばる日本にやって来ました。そして、これからの日本を背負って立つ若い人たちに「聖書」を通して“内なる変革”をもたせようとしたのです。

例えば、聖書には「天(あま)が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある。生るるに時があり、死ぬるに時があり、植えるに時があり、植えたものを抜くに時があり、…」(伝道の書 3:1~2、口語訳)とあります。人は生まれて死ぬまでの間に様々な時を生きます。そして、人はその時々のある出来事に対して笑ったり、泣いたり、怒ったり、喜んだりといろいろな反応をします。そのどの時であっても、「神のなされることは皆その時になんて美しい。」(伝道の書 3:11、口語訳)と語っています。私たちに起こってくる良いことも悪いことも、悲しいことも、辛いことさえも神様の目から見れば“美しいこと”だと言っているのです。なぜなら私たちは神様のように先のことについて見通すことができないからです。私たちは常に今起こっていることを、今の時点でしか理解することができません。今、辛いこと、悲しいことが長い目で見れば将来の私に必要なことかもしれないからです。このことを知ると、どんなことも私にとって“意味あること”だととらえ、すべての出来事を前向きに受け止めることができるようになると思います。

梅光学院は神様にあるこの“美しい時”の過ごし方を伝えて 150 年たちました。今年は 151 年目。今年も大切なことを伝えつつ、共に歴史を紡いでいきたいと思っています。

皆様の上に、神様の祝福が豊かにありますようにそう祈ります。

委員長メッセージ

ミッション委員長 児童教育専攻3年 明田 葵

2022年度もミッション委員会の活動にご協力いただきましてありがとうございました。今年度は、飛躍の年でした。コロナ禍での制限が緩和されステージスホールで日々の礼拝だけでなく行事を行うことができました。悩んだことや苦勞したことも多かったです、その分人として成長することがたくさんありました。

礼拝では、心地良く礼拝を聴講することができるよう礼拝の在り方について今一度考え、ステージスホールとCROSSLIGHTの過ごし方を改良してきました。どうすれば限られた時間でお互いが気持ちよく参加できるのかといった環境づくりに試行錯誤を重ねました。

クリスマス礼拝では、多くの方に足を運んでもらい無事に開催できたこと嬉しく感じています。当日まで不安な気持ちでいっぱいでしたが、委員のメンバー1人1人が意識をもって臨機応変に対応したことで素晴らしい礼拝となりました。また、学生並びに教職員の方々の協力のおかげで成功することができました。心より感謝申し上げます。

最後に、今年度も新しい仲間が委員会に加わり、活動を通して豊かなキリスト教教育を共にうけることができましたことをうれしく思います。教職員の方々をはじめ、多くの方に見守られ支えられ、無事に任期を終えることができました。心より感謝申し上げます。

来年度もミッション委員会の活動、キリスト教行事を感謝の気持ちを持って精一杯取り組みますので楽しみにしててください。



礼拝班長メッセージ

礼拝班長 日本語・日本文化専攻2年 榎本 優樹

2022年度の学院礼拝は、昨年度から再開したスタージェスホールでの礼拝を通年で行うことができ、ただの「礼拝」でなく、「充実した礼拝」にするために様々な努力や工夫を重ねました。取り組みとしては、新たにミッション委員会に入った1年生を対象に行う礼拝レクチャーを、今年度は2度行い礼拝を円滑に行えるようにしたり、スタージェスホールの音響や、学内外に礼拝配信を行うTeams Switchの担当者へのレクチャーをより専門的にしたりするなど、礼拝を聴講する方々がより円滑に見られるように努めました。また、人的な環境を整えるだけでなく、物的な環境も次第に良くなりました。大きな変化としては、ステージで使用しているプロジェクターが12月に新調されたことがあります。新しいプロジェクターは、これまでのものよりも明るく、大きく、高画質に投影できるようになりました。その他にも、スタージェスホールで礼拝を運営しやすく、そして聴講しやすくなるような機材の変化がありました。このような機材のポテンシャルを最大限活かすため、委員が行う礼拝の質もさらに上げられるよう努めていきます。

また、今年度はミッション委員の臨機応変な対応に大変助けられました。新型コロナウイルスへの感染や濃厚接触、冬季に猛威を振るったインフルエンザへの感染などによって急遽礼拝担当として参加できなくなる人もありました。そのような人がいれば、担当日ではないのにもかかわらず交代してくれたりする姿、1年生で不慣れな仕事をしているところを見た上級生が手伝いに入っていたりする姿などを見て、チームワークの重要性を知ることができました。来年はさらに結束力を高められるようにしていきたいと思います。

礼拝運営をするだけでなく、ミッション委員として有志で礼拝発表する機会も与えられ、「支援チャイルド紹介」「好きな聖書箇所・讃美歌」というトピックで、自分の体験談を交えた発表を行いました。多くの方が礼拝に興味を持ってくれるきっかけを作ることに加えて、発表者自身も聖書を読み返す機会となり、キリスト教への理解や学びに繋がりました。

礼拝は賛美とメッセージを通して、神様のことを知り、自分と向き合い、そしてお祈りをする大切な時間です。これからも礼拝を通してより多くの学生・教職員の方々が神様のことを知り、運営を行うミッション委員も含めた全ての人に神様からの恵みが与えられますよう、心から祈っています。

1年生メッセージ

幼児保育専攻1年 花田 涼帆

東アジア言語文化専攻1年 武居 詩恵麗

ミッション委員会に入り、慣れない仕事が多く不安でいっぱいでしたが、先輩や教職員の方々ののおかげで1年間楽しく活動することができました。ミッション委員会に入ったことで、普段は関わることのできない他学部の人たちと関わることができ、仲間が増え充実した学校生活でした。コロナ禍という状況ではあったものの少しずつさまざまな活動を行えるようになりました。サマー・バイブル・リトリートでのリーダーや、礼拝の音響班にて活動することができたのは、ミッション委員会にかかわる皆様のおかげです。

ミッション委員会に所属でき、ミッション委員会でしか味わえない体験をできたことに感謝します。



カイロスメッセージ

児童教育専攻2年 百留 吉馬

私たちカイロスは、学生主体で構成されている賛美チームです。

これまでは大学祭、カイロス礼拝といった、限られた場のみ発表をしていましたが、今年度からは週に2回の礼拝でも会衆賛美を担当し活動の幅を広げてきました。

メンバー9人も学業やサークル等の活動で忙しい中、賛美練習に励むことができました。これからもメンバーが一丸となり、心を合わせて賛美ができるように祈っています。



ミッション委員会の活動概要

礼拝班長 日本語・日本文化専攻2年 榎本 優樹

コイノニア		毎週1回コイノニア(会議)をしています。楽しみながらも真剣に意見を出し合い、学院礼拝や行事の運営をよくするための話し合いをしています。
礼拝運営		ミッション委員会の主となる活動は、学院礼拝の運営です。学院礼拝の司会や館内放送などを委員会のメンバーで行っています。
行事運営		ワークショップライブやクリスマス礼拝などすべての宗教関連行事を運営しています。特に今年度の Baiko Community Chapel (月に1度金曜日に行われる礼拝)では準備していた軽食も足りなくなるほど多くの方に参加していただきました。大学だけの礼拝だけではなく、梅光学院中高の生ともコラボし、多くの方によりキリスト教に親しんでもらえるように頑張っています。詳しくは光の子後半を CHECK !
献金活動		2つの団体を通して、9名のチャイルドを支援しています。「サマリアデー献金」として皆さんからご支援いただいています。

献金報告

ボランティア班長 日本語・日本文化専攻3年 一村 明里

献金収入

サマリアデー献金				その他の献金	
4月	96,833円	10月	44,471円	クリスマス献金	71,340円
5月	54,338円	11月	40,465円	前期の カフェドリンク代	58,340円
6月	63,537円	1月	32,651円	後期の カフェドリンク代	77,270円
7月	53,054円				
小計		385,349円		小計	206,950円
2022年度献金合計額					592,299円

献金支出

チャイルド・ファンド・ジャパン	144,000円
ワールド・ビジョン・ジャパン	243,000円
合計	387,000円



皆さんにより献金について知ってもらうために、委員会内でもレクチャーをしました。
今年度もご支援・ご協力いただきありがとうございました。

ミッションデー

国際ビジネスコミュニケーション専攻2年 植野 優香

日時：6月6日(月)17:30～

会場：スタージェスホール

ゲスト：大阪オンヌリ教会牧師 李 泳善先生



2022年度のミッションデーは梅光学院開学150周年を記念し、スタージェスホールで行われました。新型コロナウイルス感染症対策の観点より喚起・手指消毒の徹底に加え、入退場時の混雑を避けた案内により安全に行うことができました。

講演では、元宗教主任の李先生にお越しいただき、「十字架の愚かさ」についてお話をしてくださいました。また、BCC 賛美チームと有志がタッグを組み、素敵な賛美を披露してくれました。

ワークショップライブ

広報班長 日本語・日本文化専攻3年 谷 歩葵

日時：10月24日(月)18:00～

会場：CL-I

ゲスト：サルーキ=先生

今年度のワークショップライブは、新型コロナウイルス感染症対策の観点のもと換気・消毒を徹底することで対面にて行うことができました。

今回のゲストであるサルーキ=先生は、ジャパニーズ・クリスチャン・ロックバンドとして活動されており、「音楽を通して世の中にもっと愛を！」をモットーに全国各地で活躍されています。



感染症対策として換気を行ったため、教室内がかなり冷え込みましたが、教室内の全員が参加するライブをおこなってくださったため、参加した全員が心も身体も温まるようなライブとなりました。

神様の愛と歌声をロックに届けてくださったサルーキ=の皆様ありがとうございました。

クリスマスツリー点灯式

ミッション副委員長 児童教育専攻2年 中嶋 乙翔

日時：11月30日(水)18:10～

会場：スタージェスホール

今年も昨年と同様にセントラルパークにてクリスマスツリー点灯式が行われました。寒い中多くの方が参加して下さいました。今年も、梅光幼稚園の園児たちによる賛美もあり、可愛らしく素敵な歌声が響き渡っていました。また、Baiko Quire による「荒野の果てに」「この世のならぬさきに」の賛美も式を明るく彩りました。



スペシャル・アドベント・チャペル

ミッション副委員長 児童教育専攻2年 中嶋 乙翔

日時：12月5日(月)・12月16日(金)12:40～

会場：スタージェスホール

イエス・キリストの降誕を待ち望む期間である「アドベント」を特別な礼拝という形で祝いました。このチャペルのために集まった特別なメンバーで、クリスマスやアドベントに関するメッセージ、賛美を届けました。礼拝の後には、「喜びを分かち合うプレゼント」として、委員が作成したメッセージカード付きのお菓子を配布しました。



クリスマス礼拝

ミッション副委員長 幼児保育専攻2年 井手 佳倫

日時：12月19日(月)17:30～

会場：スタージェスホール

ゲスト：西南学院 前理事長・前学長 G.W.バークレー先生

今年度のクリスマス礼拝は、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中ではありましたが、対面で行うことができました。換気を行ったり、入退場をブロックごとに分けたりすることで、感染が広がることのないように配慮しました。

まず、プログラムの始めに English through music の履修学生による、「All on a Silent Night」の歌の披露がありました。パワーポイントもクリスマス礼拝用に作成したり、全員で日本語訳を作成したり、とても良いオープニングでした。

次に、ミッション委員によるページェント(イエス・キリストの降誕劇)がありました。今年はクロスライト館内を使い撮影を行い、今年はミッション委員だけでなく、教職員の方にも様々な面で協力していただきました。ページェント内で歌われていた曲は、讃美歌以外はすべて学生が作成した曲です。ページェントの最後にはイエス様が誕生した喜びを忘れず心にとめられるように、「Way Maker」の賛美を行いました。力強い歌声が会場に響き渡り、2000年前のイエス様の降誕を思い浮かべることができたと思います。

その後、音楽表現の履修学生と Baiko Quire による賛美「世の人忘るな」の賛美がありました。授業内での練習や練習や、放課後に練習したこともあり、美しいハーモニーでクリスマスをお祝いすることができました。

クリスマス・メッセージは、G.W.バークレー先生にお越しいただき、「希望の灯」についてお話いただきました。

次に、クリスマス献金についてのお話をミッション委員のボランティア班長、一村明里さんがしてくださいました。クリスマス献金や毎月のサマリアデー献金のお金の使い道や今年度の金額の報告、支援チャイルドのことを聴くことができました。

最後には、会衆賛美「諸人こぞりて」を賛美しました。会場全体で賛美をすることでクリスマスを祝福することができ、とても良い時間を過ごせたと思います。

今年は新型コロナウイルスの影響もありましたが、学生、教職員が対面により参加したことでクリスマスをお祝いする意味について深く考えられる時間になったと思います。また、ミッション委員の協力により、今年も大きな問題はなくクリスマス礼拝を終えられたことに感謝しています。そして救い主の降誕をお祝いすることができ、今年も素晴らしいクリスマス礼拝となりました。

今年度もミッション委員会の活動に
ご支援・ご協力いただきまして
本当にありがとうございました。

来年度もよりよいキリスト教教育のために
尽力してまいりますので、
どうぞよろしく願いいたします。

ミッション委員会一同